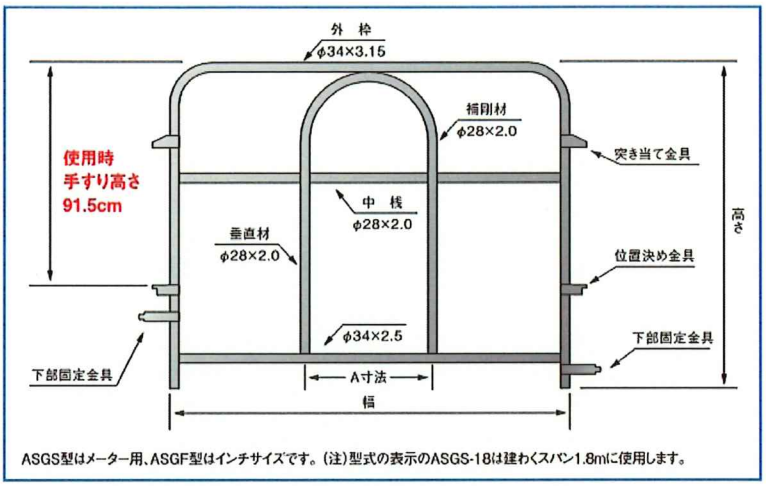
据置型先行手摺

アルミスカイガード

品名	品番	高さ(mm)	幅(mm)	A寸法(mm)	重量(kg)
アルミスカイガード	ASG-18	1307	1654	530	7.3
	ASG-15	1307	1354	424	6.8
	ASG-12	1307	1054	424	6.2
	ASG-9	1307	754	316	5.6



ASGS型はメーター用、ASGF型はインチサイズです。(注)型式の表示のASGS-18は建わくスパン1.8mに使用します。

高い機能性による安全対策

超軽量による取り付け作業時の取り回しのしやすさや、取り付け工程の削減による時間短縮など、作業者にやさしい利便性と機能性を両立させています。

「安全性」・「超軽量化」・「美観性」

スカイガード(墜落防止用先行型手すり枠)は、枠組足場にそのまま取り付けられ、墜落・転倒などによる労働災害を防止することが出きる「手すり枠」です。

墜落労働災害防止に3つの効果

1 常に、枠組足場の組立・解体作業時に「手すり枠」があり、安全に作業をすることができます。

2 スカイガードには、中桟、2本のタテ桟があり、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することができます。

3 手すり枠は、床面から手すりの高さが91.5cmあり、乗り越えなどによる墜落を防止することができます。中桟の高さは46.2cmです。

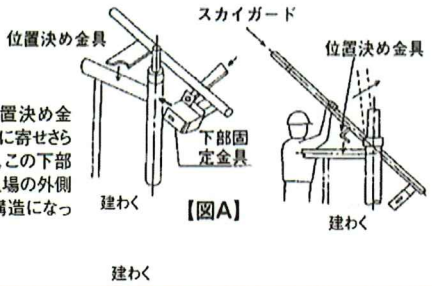
■スカイガードは交差筋かいにかえて交差筋かいを取り外して使用するタイプの枠組足場用手すり枠です。
■スカイガード全般についての使用方法は取扱説明書を参照することをお願い致します。
■枠組足場用手すり枠の使用基準は巻末資料10ページを参照してください。

据置型先行手摺

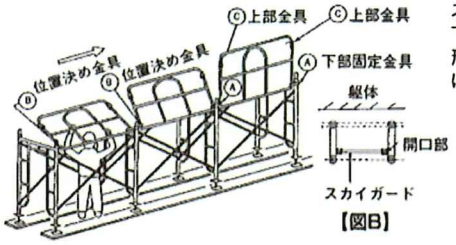
組み立て方

1

スカイガードの位置決め金具をジョイントの方に寄せさらに立て起こします。この下部固定金具により足場の外側に絶対落ちない構造になっております。



【図A】



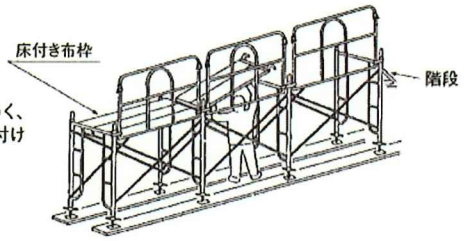
【図B】

スカイガードの仮置きは下部固定金具のU字形開口部をB図のように置きます。

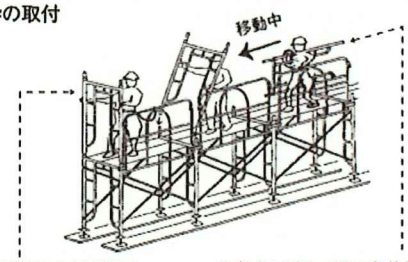
建わく

2

床付き布わく、階段を取り付けます。

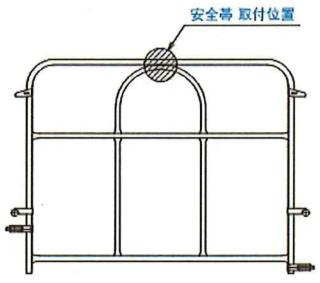


3 建枠の取付



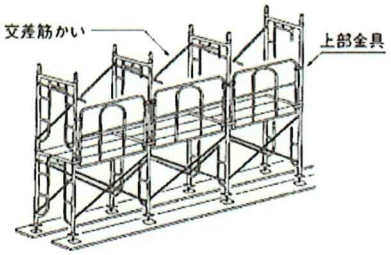
足場の両サイドの建わくを組み立てる場合には、スカイガードの手すりに安全帯を取り付けて作業をして下さい。

作業者が建わく又は交差筋かいを運搬するときには、必ず肩に担ぐか又は手に持ち、片手はスカイガードの手すりにつかまりながら作業床上を移動することを厳守して下さい。



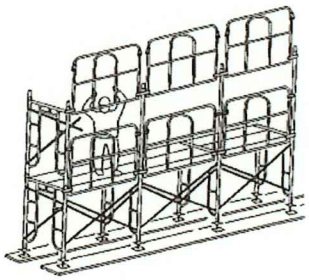
4

交差筋かいを躯体側に取り付けます。その後建わくにスカイガード上部金具を突きあてます。

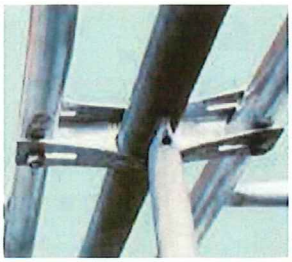


5

スカイガードを建わくに取り付けます。



▲建わくを取り付けた時に上部金具は垂直状態になっています。



▲上部金具を上に引き上げ、建わくに水平に突きあてた状態。

▲建わくを肩に担つぎ、片手はスカイガード手すりにつかまりながら移動中。

▲足場の先端部に建わくを取り付ける場合にはスカイガードの手すりに安全帯を取り付けます。

▲建わくに上部金具を突きあてます。

▲アームレスジョイントの建わくにも取り付けられます。